

令和6年度 川内公民館高齢者学級
第4回「紫式部の生きた平安時代」



講師の藤本先生



令和 6年 7月 18日

川内公民館 集会室

講 師：藤本 宗利 先生

川内公民館高齢者学級の第4回講座は、群馬大学名誉教授の藤本先生の文学講座「紫式部の生きた平安時代」を行いました。



講座風景

平安時代において、男性は、氏が必須で階層社会のため自家の家格を超える出世がほとんどできなかった。当時から外戚政治が行われ、女性は門閥に関わらず、才色兼備であれば婚姻によって高貴な身になれた。更にその実家も家格が上がったため、競って帝に娘を嫁がせた。その外戚政治で全盛を極めたのが、あの有名な藤原道長であったそうです。平安時代の一般的な考えとして、宮仕えする女房達は、色々な人に見られるので、結婚相手としては軽視される傾向にあった。困みに、紫式部は、宴会の席でからかってくる男性を無視するタイプで、対照的に清少納言は巧みな話術で男性の相手ができるタイプであったそうです。

平安の装束を着た藤本先生を見た学級生達は、歓声をあげながら真剣に聞き入っていました。藤本先生、面白おかしく親切丁寧に教えていただきありがとうございました。